

熊本市

移民 感じ合う芝居を

劇団笠戸丸 ブラジル公演の壮行会

二月四日にブラジル公演に出発する在熊の劇団笠戸丸（山南純平代表）の壮行会が三十日、熊本市上通町の同仁堂スタジオライブで開かれた。

同劇団は昨年のブラジル移民百周年に合わせ、若手演劇人らが結成。「移民の父」上塚周平＝城南町出身＝ら移民団を描くオリジナル作「ボクノフルサト。」を、サンパウロ市や上塚が活動したプロミッソン市など四カ所で上演する。



ブラジル公演壮行会でダイジェスト版「ボクノフルサト。」を披露する劇団笠戸丸

壮行会は、公演を主催するNPO法人日本フェアトレード委員会などが開き、約五十人が参加した。脚本の田中瞳さん＝県立大四年生＝が「お客さまと感じ合う芝居をしたい。今の日本を生きるパワー

を出し切ってきます」とあいさつ。「ボクノフルサト。」ダイジェスト版の披露や、ブラジルで公演を重ねる歌手井上祐見さん＝横浜市＝のライブがあった。公演費用に充てる寄付も募った。

ブラジル公演や寄付についての問い合わせは同委員会 ☎096(245)4545。

(平井智子)